

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ここ（1人）

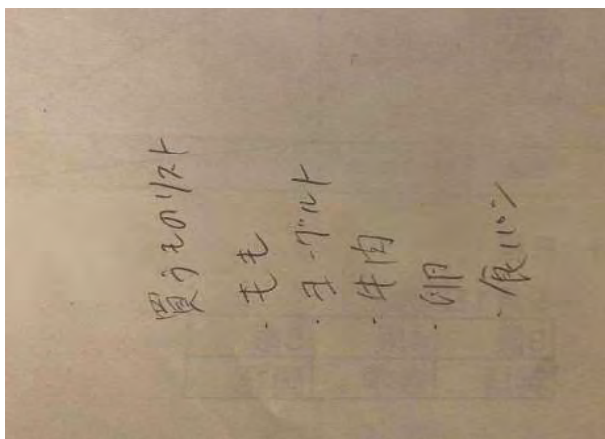
SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

## 豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル つくる責任 つかう責任

## 活動の動機

今、世界では使うことの出来る又は食べられることのできる衣服や家電、食べ物などがたくさん廃棄されていて、問題になっているから。



## 取組・活動実施日

令和3年8月1日

## ゴール

12 10 1

## 解決したい地域の課題

食品廃棄物が多い

## 目指す将来の姿

SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」は持続可能な生産消費形態確保することを目的としています。持続的開発を阻む要因の1つには、食品廃棄や有価物の投棄など資源の浪費が挙げられます。少ない資源で、良質でより多くのものを得られるように生産や消費ができる形態を求められています。

## 活動の内容

私は、「無駄」や「勿体ない」を少しでも削減するためにその時必要ない食品は買わない、要らなくなった衣服などはリサイクルしてまた新しく使えるようにするなど計画を立てました。一人一人がSDGsの課題にもっと積極的に取り組めば、多くの人を救えるし廃棄物も削減されて環境にも優しいので、今回の活動で学んだことを生かしてこれからも生活していきたいと思います。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ひな（1人）

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

## 豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

**タイトル** 冷蔵庫に余ったもので料理**活動の動機**

日本では食品ロスのおよそ半分の280万トンが家庭から発生しており、とても多いのでとても身近な問題だと思ったから。自分たちの心がけて減らすことができると思ったから。

**取組・活動 実施日**

令和3年8月16日から令和3年8月21日

**ゴール**

10 12

**解決したい地域の課題**

冷蔵庫に余っている食材から料理を作ることによって食品ロスを減らし、どの家庭でもそういう工夫をすることで食品ロス減らしていく。

**目指す将来の姿**

どの家庭でも余った食材で料理をしたり、食品が傷まないような正しい保存方法をしたり、買いすぎ・作りすぎに注意するなど、家庭から発生する食品ロスを減らしていくために工夫をしていくのが当たり前になること。

**活動の内容**

冷蔵庫にあってはいる食材(違う料理に使ってあまっているもの、使い道が決まっていないもの、賞味期限が近いものなど、)を探しその中で作れそうなメニューを考える。実際に作ってみる。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

チーム鈴木（1人）

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

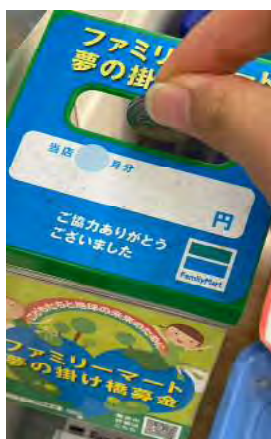
## 豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

## タイトル

募金で貧困をなくそう！

## 活動の動機

中学の時に2の飢餓をなくそうという目標について調べたことがあり、他の目標についても知りたいと思ったので、貧困をなくそうという目標にも興味があったので調べようと思った。



## 取組・活動 実施日

令和3年7月25日から令和3年8月3日

## ゴール

1 10 16

## 解決したい地域の課題

世界中でも貧困があることは知られているが、日本にも貧困の人がいる(特に子供)ことを伝えたいと思ったからです。

## 目指す将来の姿

世界中を極度の貧困である人をなくし、世界が定めている貧困ラインを下回っている人を半減させること。国の制度やインフラを整え、どんな人でも食べるものや医療を受けられるようにすること。

## 活動の内容

1日目も2日目も駅や色々なお店や公共施設で募金活動をやっていなかったので、家の近くのコンビニエンスストアで買い物をした後、募金をしてきた。まだ自分でお金を稼いでいるわけではないので、ほんの気持ち程度のお金しか募金できなかったけれど、少しのお金でも役に立つと思うので2日間で計100円の募金をしてきた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ミシンが無い（1人）

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

## 豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

## タイトル

着れなくなった子供服を手縫いでリメイク！

## 活動の動機

自分の服をたくさん捨てた時に、大量に捨てるのではなく何かに使えないかなと思ったから。



## 取組・活動実施日

令和3年8月19日から25日

## ゴール

12 10

## 解決したい地域の課題

捨てる服を減らす。

## 目指す将来の姿

服は買っても着ないものも多いけど、1枚作るのにたくさんの物が消費されてるから無駄にしないようにしたい。

## 活動の内容

今回は計4枚を使って、カバンとブックカバーを作りました。それぞれの服の糸をほどいてから合う大きさに切り、縫い合わせました。大きさや形などを使いやすくなるように考えて作りましたが、どうしても縫い目があらかなくなったり大きさが合わないことがありましたが、使いやすい物が出来たと思います。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

名無し（1人）

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

## 豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 安全な水の大切さ

活動の動機

最近よく福島第一原発での処理水の問題をよく聞くようになったそこで安全な水がどれほど大切なものなのかを色々な人達に知って欲しいと思ったから。



取組・活動実施日

令和3年8月19日から令和3年8月22日

ゴール

6 14 10

## 解決したい地域の課題

最近では豊かな暮らしが当たり前になってきていて普段使っているものへのありがたみが薄れてきていると思った。とくに安全な水の大切さにもっと気づいて貰いたい

## 目指す将来の姿

全ての世界の人達が安全な水を使えるようになること。  
私たちが今使っている安全な水がどんな人にも使えるようになって欲しい。  
そしてそんな安全な水を無駄に使わないように色々な人が気おつけて使い方を工夫できるようになったそんな世界にしたい。

## 活動の内容

まずは水のろ過実験を行う。ろ過実験に使った時間を元にまずは綺麗で私たちが使っているような水を作るのにどれだけの時間とお金が必要なのかを知ってほしい。  
その後に福島第一原発での処理水の問題について取り上げることで1度汚れてしまった水を同じように綺麗にすることの大変さをもう一度理解してほしい。  
その後に水を節約の方法を調べたり考えたりして安全な水を正しく使えるようにする。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

Nami Toyoda （ 1 人）

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

## 豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

**タイトル** フェアトレード商品は身近にある！**活動の動機**

私が「フェアトレード」という言葉を知ったのは中学生の頃だった。でも、知ることだけじゃ足りないと思い、この機会にもっと調べ、実際に買って、色々な人に興味を持ってもらえたらな、と思いこのような活動にした。

**取組・活動 実施日**

令和3年8月25日から8月28日

**ゴール**

10 12 1

**解決したい地域の課題**

家族に聞いてみると、誰もフェアトレードのことを知らなくて、少しショックだった。他にもフェアトレードのことを知らない人がいるだろうからもっと広めたい。

**目指す将来の姿**

この豊橋で、もっと多くの人にフェアトレードのことを知ってもらい、みんながチョコや、コーヒー豆などのフェアトレード商品を買う街になればと思った。そうなれば、生産者の方にも正当なお金が行って、みんながハッピーになると思った。

**活動の内容**

- 1.フェアトレードとは  
ということで、知らない人にも分かりやすいように簡潔にまとめた。
- 2.フェアトレードとSDGsとの関係  
ということで、代表的なSDGsと関係することを書いた。
- 3.フェアトレードが買える所  
ということで、これを見て買ってみたいかな。と思ってもらえるように身近な店舗を載せた。



◆ニックネーム・グループ名（人数）

びぐせるまる（1人）

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

## 豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

## タイトル

ジェンダーレスになりタイパンツ計画

## 活動の動機

私がこの計画に取り組もうとした理由は、中学生の時の調べ学習です。そこで、日本のジェンダーギャップ指数が先進国最低水準であると知り、何かできることはないかと思い、この計画に取り組むことにしました。



## 取組・活動実施日

令和3年7月26日から令和3年8月10日

## ゴール

5 10 12

## 解決したい地域の課題

私が思う地域の課題は、ジェンダーについて周囲の理解が浅いことです。例えば女子がスラックスの制服を着た時、周囲には驚かれます。これからは驚かれるのではなく、受け入れられる地域になれば良いと思います。

## 目指す将来の姿

私が目指す将来の姿は、ジェンダーに関係なく、誰でも好きな服を着られる世の中です。今では、ジェンダーで着られる服の制約があり、それに苦しんでいる人もいます。その状況を変えるためにはジェンダーレスの衣服が増えることが必要だと思います。

## 活動の内容

私はジェンダーレスの服について理解を深めるためにジェンダーレス服の製作をすることにしました。ジェンダーレスの服として、タイパンツという服を見つけました。タイパンツの特徴は初心者でも製作が簡単なウエスト部分がフロントで調整でき、ゆとりがあるので、体型がかくせます。実際に制作し、父と私で比べてみると、どちらがきても違和感はありませんでした。しかし、サイズ調節が難しいという課題が見つかりました。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

## 豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 不平等をなくそう

活動の動機 私は外国にも興味があり、日本の不平等だと言われることも知りたいと思ったからです。



取組・活動 実施日

令和3年8月26日

ゴール

10 1 2

## 解決したい地域の課題

日本は所得格差が結構あること。

## 目指す将来の姿

どんな人でも平等にすごせるようになる。  
 国の間での不平等も無くす。日本の所得格差を拡大させないようにする。

## 活動の内容

スーパーやコンビニにある募金箱に募金をする。  
 手話や点訳、音訳、要約筆記などを学ぶ。  
 国や人種、障害の有無、性別の違いなど、それぞれの違いを認めあって、理解する。  
 ニュースをよく見る。



◆ニックネーム・グループ名（人数）

いちかあ（1人）

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

## 豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

## タイトル

使用しなくなった服でマスクを作ろう

## 活動の動機

私は学校の授業でSDGsを学びました。服や食べ物に困っている人々がたくさんいると知って私に何か出来ることがないかと思ったのでこの活動をしようと思いました。



## 取組・活動実施日

令和3年8月15日から令和3年8月17日

## ゴール

12 10 16

## 解決したい地域の課題

服が無くて着れない人々に自分たちが使用しなくなったものや着れなくなったものを再利用して、少しでも困ってる人を減らせるようにすることです。

## 目指す将来の姿

生活が困難な人々が少しでも充実した生活が送れるような世の中になればいいなと思いました。そのために、自分が学んだことを生かし、ボランティア活動などを積極的に取り組んで自分の周りの人たちにも呼びかけたいです。

## 活動の内容

つくる責任、つかう責任についてや日本がやっている取り組みなどを調べました。また、使わなくなった服や着れなくなった服を使って今のコロナ禍に必要なマスクを作りました。普段は捨ててしまう服でもいろんなものを作ることができるのでこれからも再利用できるものは利用していきたいと思いました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

はち（1人）

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

## 豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

## タイトル

生活が困難な国について調べ服を寄付する

## 活動の動機

生活が困難な国があることは知っていましたが、どのくらいあるのか、どうして、どのように困難なのかは知らなかったので調べてみようと思ったからです。そして自分もなにか力になりたいと思い、服を寄付しました。



## 取組・活動実施日

令和3年8月15日

## ゴール

1 10 16

## 解決したい地域の課題

貧困を無くすことです。豊橋駅などでホームレスの方をよく見かけます。誰もが最低限の生活をするために、募金活動をしたり働きやすい環境をつくる必要があります。

## 目指す将来の姿

生活が困難な人をなるべく0に近づける事です。そして、生活が困難な国を差別することなく生活する事です。みんなが生きやすく、過ごしやすい世界になってほしいです。そのためにみんなで協力をし、今自分に出来ることを一人一人が考え、実行すれば時間はかかりますが、解決に近づくとと思います。

## 活動の内容

生活が困難な国について調べました。まずは生活が困難な国は日本政府が承認している国が196カ国ある中の140カ国が開発途上国と呼ばれる国である事がわかりました。次に貧困の理由と現状です。1番の理由は収入が少ないといった経済的なものである事がわかりました。私に出来ることは何か考えた時にいらなくなった服を寄付することなら出来ると思い、服を寄付しました。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

## 豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル みんな平等に

活動の動機 女の人は家事をして当たり前、男の人は仕事をして当たり前というそんな当たり前がまだ残っていると思うから



取組・活動実施日

令和3年8月31日

ゴール

10 17 16

## 解決したい地域の課題

- ・地震が来た時など避難場所までの道のりで危ない所はないか
- ・道がせまいため車が自転車が両方通れないとき声のかけあいが大事だと思った。

## 目指す将来の姿

- ・家の事はお母さんだけでなく、自分で出来ることは自分から進んでお手伝いが出来る姿。
- ・やらされているのではなくて、お手伝いにも家族だんらんで楽しく取り組める姿。
- ・家の事、自分の事はやってもらって当たり前ではなくみんながはやくから自立できる姿。

## 活動の内容

1週間家族で曜日によって家事が変わり、それをみんなでこなしていく。  
 （例…月曜日 お皿洗い→兄、お風呂掃除→自分、洗濯物→弟 火曜日 お皿洗い→自分、お風呂掃除→弟、洗濯物→兄）など。  
 ただやるだけでは続かないし、楽しくないため、音楽をかけながらや競走してみたり家族でゲームをしながらなど家事をしながらでもだんらんが作れるようにした。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

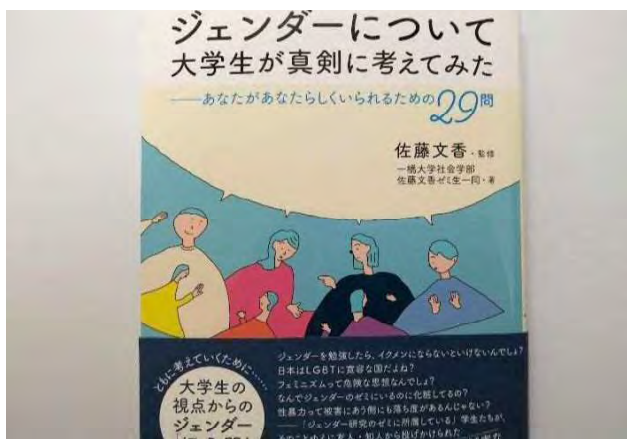
## 豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

## タイトル

どうしたらジェンダーは理解されるのか

## 活動の動機

前から興味があった、ジェンダーについてもっと詳しくして、少しでも偏見の目が減るには何をしたらいいのか知りたいと思ったからです。



## 取組・活動 実施日

令和3年8月17日から8月31日

## ゴール

1 10 16

## 解決したい地域の課題

ジェンダーについてのことではないけれど、周りとの交流や話す機会というのを大切にして、お互いを尊重し合うような習慣をつけて生活するのが大切だと思います。

## 目指す将来の姿

友達や、家族というような、身近にいる人たちとの交流の中で、ジェンダーについての考えや意見を交換したりして、関心を深めていけたら、偏見や、差別が減っていくと思います。それによって悩んでる人が減っていくのが理想の将来の姿だと思います。

## 活動の内容

まずは、ジェンダーについての知識を増やすために、本やインターネットでジェンダーをしらべました。そして、家族や友達にジェンダーについての考え方をきいてみて、意見を共有したりしました。

ジェンダー平等を実現するために私たちができることはなにがあるのか。というアンケートをSNSを通して取ってみました。

同じ考え方をしている人もいたので、もっとジェンダーへの関心を持つ人が増えるといいなと思いました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ユネスコ委員会（5人）

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

## 豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル “届けよう、服のチカラ” プロジェクト

## 活動の動機

私たちが着ることができなくなった子ども服を難民の子供に贈ることで健康や命を守ったり、人としての尊厳を守ったりできるという(株)ファーストリテイリングの考えに共感してこの活動は始まりました。



## 取組・活動 実施日

一年間を通して

## ゴール

3 10 12

## 解決したい地域の課題

世界情勢の変化による紛争や内戦で難民の人数も年々増加傾向にあります。豊橋市はほか市区町村と比べ外国籍の割合が高く多様性に富んだ都市です。少しでも多くの方が難民問題に目を向けてほしいと考えています。

## 目指す将来の姿

「“届けよう、服のチカラ” プロジェクト」を通じて、世界的な難民問題や貧困問題をもっと多くの人に知ってほしい。参加者の増加による啓発的な効果も高めたい。私たちの身近に存在している着ることができなくなった子ども服を活用してこの活動の参加者を増やし難民の子どもたちにより多くの服のチカラを届けていきたい。

## 活動の内容

この活動は豊橋市内の幼稚園、こども園にご協力いただき、毎年沢山の子ども服を回収しています。幼稚園、こども園のみなさんに協力をお願いするにあたって園児に合わせて、チラシや回収箱作るなどの工夫をしています。昨年からコロナウィルスの影響で短い期間での実施でした。量より一枚一枚の思いを大切に難民の方が喜んでもらうために気持ちよく快適に着られる服を贈っています。その結果毎年約一万着集めることができます。



◆ニックネーム・グループ名（人数）

編み物作品（1人）

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

## 豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

## タイトル

世界の子供たちに編み物作品を贈ろう

## 活動の動機

何をやろうか迷っていたら、友達と一緒に編み物して寄付しようと誘ってくれたのでこの活動をすることにしました。



## 取組・活動 実施日

令和3年7月20日から令和3年8月23日

## ゴール

1 10

## 解決したい地域の課題

朝から晩まで働いている子供たちに、自分たちで稼いだお金をご飯や自分自身のためにつかってほしいので冬に使うであろう防寒具を編んで寒い冬を乗り越えて欲しいと思いました、

## 目指す将来の姿

この活動を実践することで1番の(貧困をなくそう)と10番の(人や国の不平等をなくそう)を少しでも解決できるのではないかなと思いました。防寒具を買うお金を他の何かにあてて使って欲しいし、少しでも多くの子供たちに私が作ったマフラーで寒い冬を乗り越えて欲しいと思いました。

## 活動の内容

毛糸屋さんへ毛糸などを買に行きました。編み物が初めてだったので編み方の練習から始めてその後マフラーを編みました。慣れるまで手こずっていたけど慣れてからは自分一人で編むことが出来ました。5,6段ごとに色を変えて編みました。2本取りで編んだので空気の層ができてよりあたたかくなるようにしました。送る時も廃棄量を増やさないためにも、友達と一緒に送り、梱包するものも最小限にしました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

お慈悲をください（4人）

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

## 豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 豊橋イクメン増量計画

活動の動機

豊橋の未来を創る人が育つまちにするために、安心して子育てできることが大切だと考える。将来、子育てをする時に、パートナーとの子育てを平等にすることが大切だと思い、豊橋の育休について調べることにした。

第2章 豊橋市における現状と課題

2. 現状  
(1) 概況

① 育児休業の取得率  
男性職員の産後補助休暇、育児参加休暇の取得率

項目	育児休業取得率	男性	女性
豊橋市	2.0%	0.0%	2.7%
愛知県	100.0%	100.0%	100.0%

② 産後補助休暇、育児参加休暇の取得率

項目	H27	H28	H29	H30
産後補助休暇	49.5%	28.4%	48.0%	17.2%
育児参加休暇	13.1%	16.7%	18.6%	15.7%

分析  
女性職員の育児休業取得率は100%を達成しているが、男性職員の取得率が非常に低い。また、産後補助休暇の取得率も低い。また、産後補助休暇が学業や育児参加休暇として申請する場合は取得率が高くなる。両休暇とも取得率が低いままである。

取組・活動 実施日

令和3年7月14日～10月28日

ゴール

5 17 10

## 解決したい地域の課題

豊橋市の男性の育児休業取得率はずっと低い状態が続いており、平成28年度にはついに0%になってしまった。対照的に、女性の取得率は100%を保っている。育児休業取得率の男女比の偏りの改善が課題である。

## 目指す将来の姿

現在日本では性的役割分業の改善や男女共同参画社会への推進がなされている。しかしながらいまだに性別による負担の差があるため、女性が産後の疲労や育児疲れ、家事をしてくれない夫へのストレスを感じるなど課題は多く残っている。そのため、地域全体がこれらの課題を乗り越えたまちづくりを目指している。

## 活動の内容

育休は取るべきか否かとその理由と、親族の育休状況について学年全体にアンケートをとった。まず育休を取るべきか否かについては、過半数の人が男女どちらもとるべきと解答している。理由は多くの人が男女平等と答えていた。しかし、親族の育休所得状況は取得していない人が44%もあり、所得した人もほとんどが女性だった。ここから意識と所得状況のギャップを感じた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

チーム校則（5人）

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

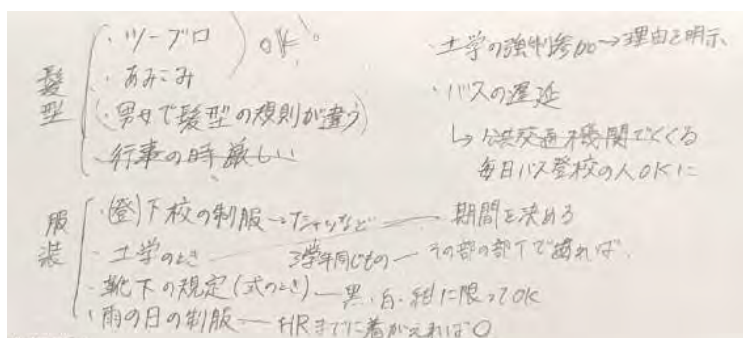
## 豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

## タイトル

校則から見た学校の過ごしやすさについて

## 活動の動機

ニュースなどで、「ブラック校則」が取り上げられているのを見て、自分たちの学校ではどのような意見があるのかを調べ、より学びやすい環境に近づけたいと思った。



## 取組・活動 実施日

令和3年7月20日から10月6日

## ゴール

4 10 16

## 解決したい地域の課題

将来社会で生きる上でも必要な最低限のルールを、ことを踏まえた上で、生徒が疑問に思う細かな校則が存在していること。どんな理由で存在するのか分からないような校則があることの改善をめざす。

## 目指す将来の姿

適切な校則を作ることで、誰もが居心地よく、学校教育を、受けられる環境を目指す。高校生という血気盛んな時期に、学校を校則を守りつつも、自由が尊重され、また心や体の成長を促すような場所に、していきたい。今後自立していく我々にとって、社会のルールに、適応できる能力を学校生活を通して身につけていく。

## 活動の内容

「classi」というアプリを利用し、アンケートを実施。対象は本校の2年生320人で、「本校の校則・ルールで疑問に思うもの、変えて欲しいものを教えてください。」と呼びかけた。また、本校と周辺の学校との校則の違いを把握するために、班員それぞれが知人等を通じて調査した。収集した情報を基に生徒の意見また、社会の一員としての意見を考慮した上で、本校の校則を今一度見直し、改正案を作成した。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

広島東洋チョコレート（5人）

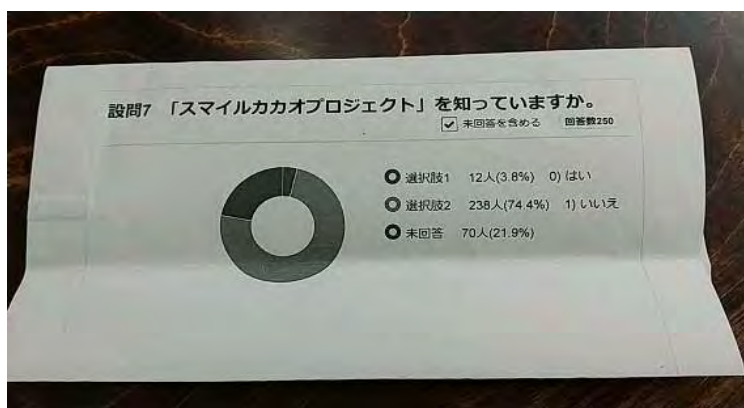
SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

## 豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル スマイルカカオプロジェクト

## 活動の動機

私たちは学校の総合の時間にSDGsについて考える機会があり、目指すべきまちづくりの基本計画や地域の課題をインターネットで調べていくうちに、豊橋の産業に疑問を抱き、産業をテーマに活動することにした。



## 取組・活動 実施日

令和3年6月2日～10月6日

## ゴール

2 9 10

## 解決したい地域の課題

豊橋市がおみやげが少ないことが問題となっている。その中で僕たちは、豊橋で有名なブラックサンダーについて調べた。これはアフリカの人々を援助する事業に関わっているので、僕たちもこの事業を推奨したい。

## 目指す将来の姿

豊橋のおみやげが少ない現状から、豊橋が発祥の地であるブラックサンダーの知名度を上げ、全国から人が買いに集まるような町を目指す。そこからさらに、ブラックサンダーの事業が取り組んでいる、スマイルカカオプロジェクトを宣伝し、たくさんの人に知ってもらうことで、SDGsの活動について貢献する。

## 活動の内容

私たちはSDGsの活動で、豊橋市の産業について調べた。産業についてインターネットで調べていると、日本に輸入されているカカオ豆の約7割がガーナであることを知り、そこでブラックサンダーを使って、スマイルカカオプロジェクトという企画が、行われていることにたどり着いた。校内でアンケートを行ったところ、この企画を認知している人は、約3%ほどであり、多くの人に知ってもらおうと活動した。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ちーむじゃぱん （ 5 人）

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

## 豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

## タイトル

愛知県国語テスト最下位脱出計画

## 活動の動機

日本の教育は整っているはずが、日本の国語力が低く、さらに愛知県の国語のテストの平均は全国最下位であることを知ったため。この原因を読書時間の減少と考え、読書の大切さを知り、広めたいと思ったため。



## 取組・活動 実施日

令和3年7月19日から令和3年8月19日

## ゴール

4 8 10

## 解決したい地域の課題

愛知県の国語の成績が全国最下位であること、本があまり読まれなくなっているのが課題です。うまくコミュニケーションをとるためにも、本の楽しさや必要性を感じて、本を読む人を増やしていきたいです。

## 目指す将来の姿

愛知県を全国学力テストで1位にし、愛知県の子ども達がよく本を読む習慣をつけたいです。そして、多くの子ども達に本を好きになってもらいたいです。たくさんの人に、より本を手にとってもらえる環境が整えられるといいと思います。国語の点数を上げるのもそうですが、読書でつけた力を世で発揮できるようにしたいです。

## 活動の内容

夏休みの期間、速読力+読解力を上げるため、目標を決めて読書をしました。また、ポスターをかいいて読書の楽しさや良さ、愛知県の現状を伝えました。期間の始めと最後に「読書速度ハカルくん」を使って、1分間に読めた文字数を計測しました。その結果、1ヶ月の取り組みで班員全員が記録を伸ばすことができました。この結果から毎日読書をすることで文字を読むスピード、読解力が上がり、国語の結果につながるということが分かりました。